

情報モラル研修 9（2部）

ソーシャルゲーム

やまぐち総合教育支援センター

情報モラル

情報モラル研修会を始めます。
テーマは「ソーシャルゲーム」です。
(★)

研修のゴール

ソーシャルゲームの課金トラブルの疑似体験を通して、親の立場で留意すべき点を考える。

本研修のゴールは「ソーシャルゲームの課金トラブルの疑似体験を通して、親の立場で留意すべき点を考える」です。

では、課金トラブルに至る経緯を見てみましょう。

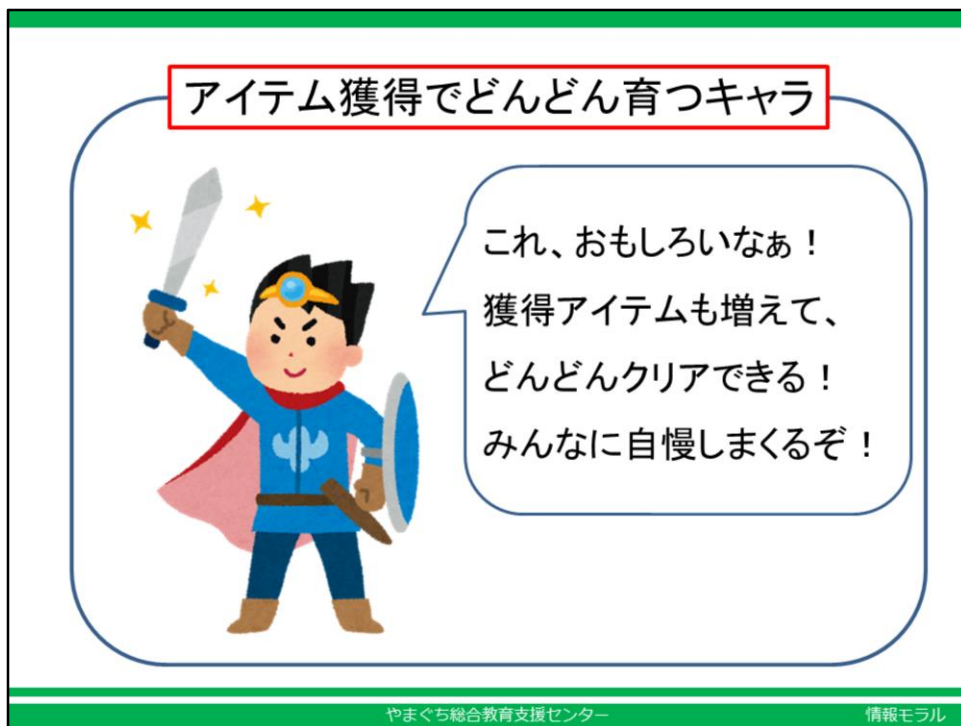
(★)

無料ゲームとの出会い

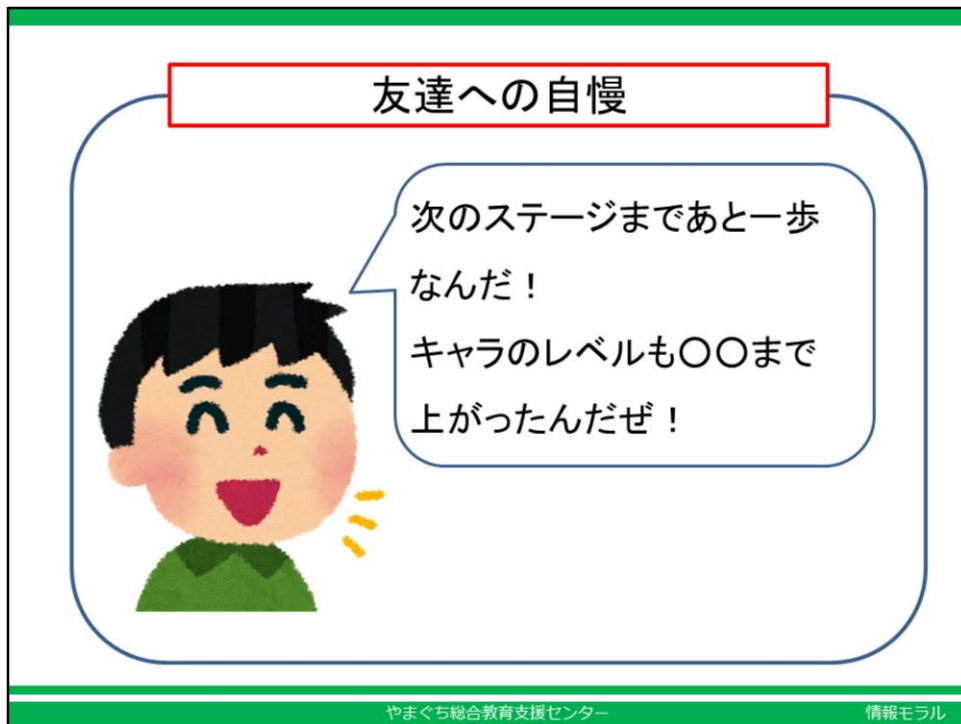


これかあ、〇〇くんたちが
やっているゲームは。
あっ、これ無料なんだ。
よしっ、ぼくもやってみよう！

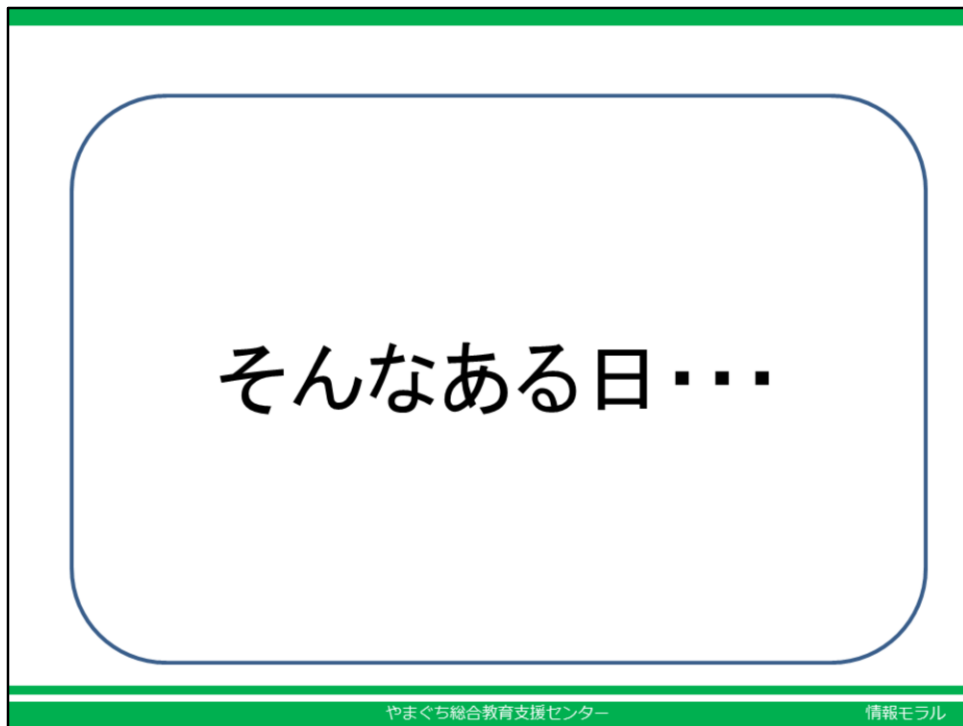
この男の子はスマホで、キャラクターを育てながらボスキャラを倒し、ステージをクリアしていくという、おもしろそうなゲームを見つけました。
(★)



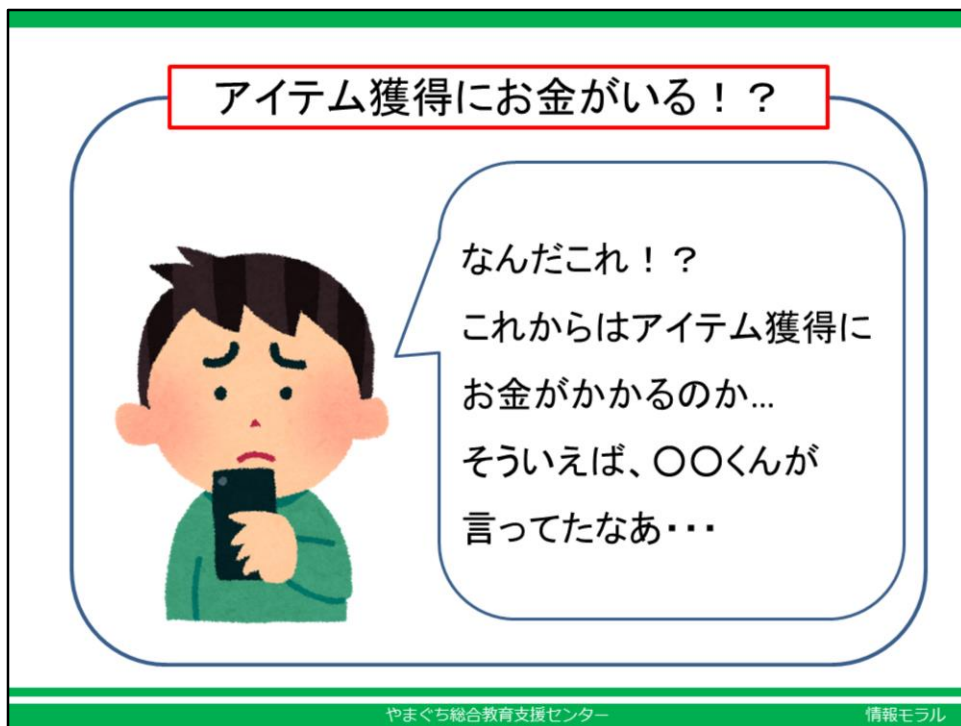
このゲームはアイテムの獲得でキャラクターが強くなっていきます。
無料アイテムにより、おもしろいようにキャラクターは成長し、ステージクリアがなされていきました。
(★)



ゲームが進行すると、同じゲームをやっている友達に自慢したくなりました。
ゲームの楽しさに加え、友達に自慢できることも喜びになってきました。
(★)



そんなある日...
(★)



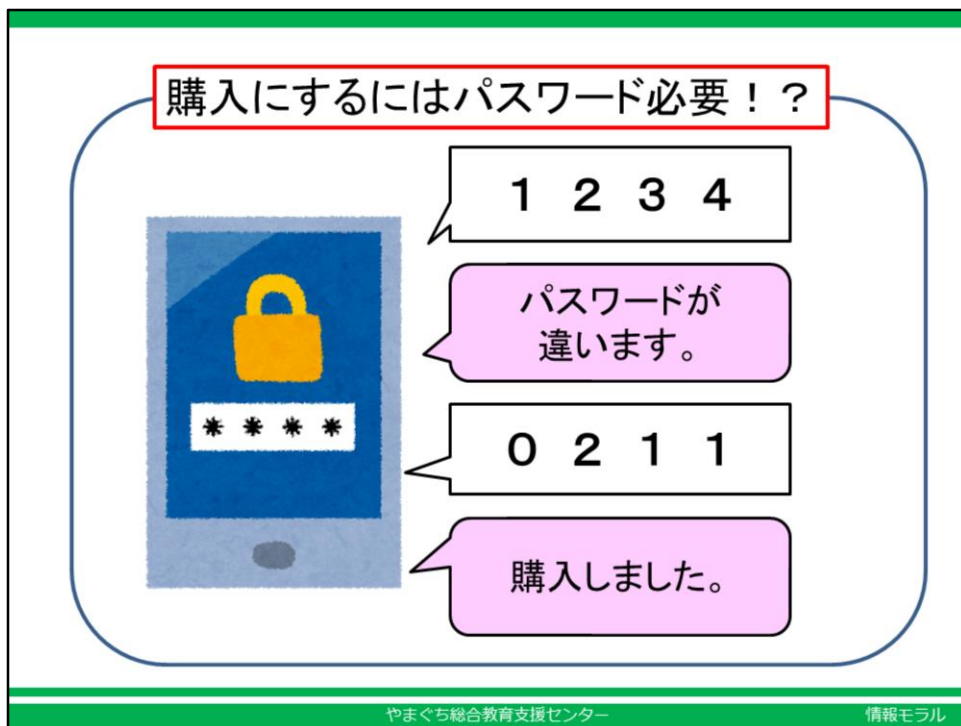
なんと、いつも通りアイテムを獲得しようとしたら、お金がかかるという表示が！
男の子は、友達からも聞いていたので、それほど驚きませんでした。
(★)

アイテム購入



200円かあ。
まあ、みんなも購入して
いるだろうし、ちょっとくらい
ならいいか。

アイテムは一つ200円でした。大した額ではないことと、友達も購入しているという安心感から購入を決意し、購入ボタンを押しました。すると…
(★)



購入にはパスワードが必要でした。

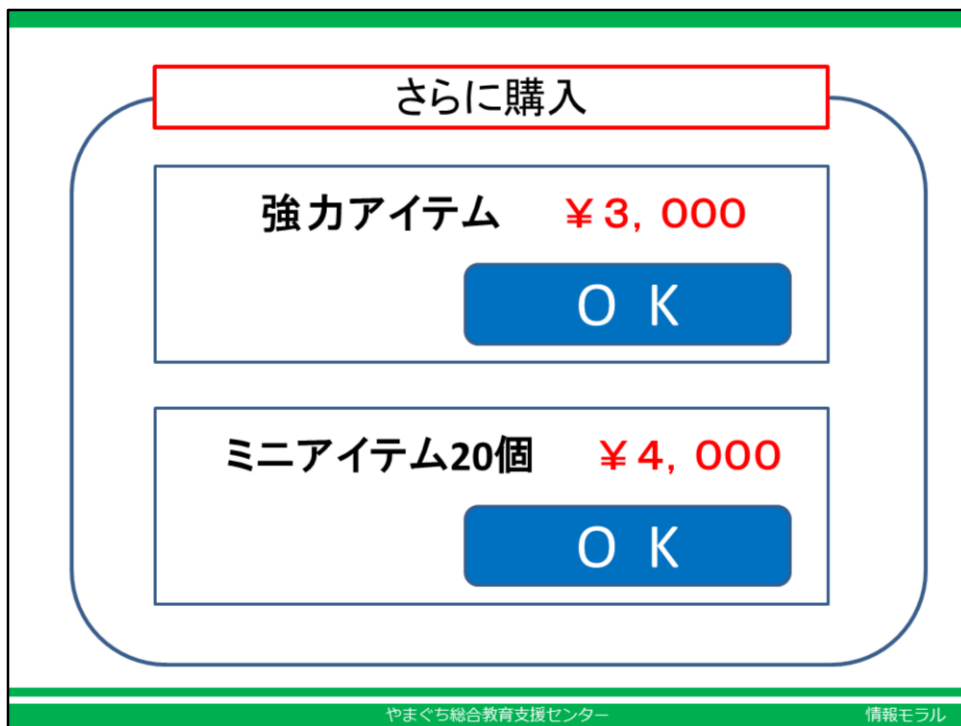
(★) 適当に1、2、3、4と入力すると、

(★) 「パスワードが違います。」とでました。

(★) そこで、スマホの契約者の母親の誕生日を入力しました。

(★) すると、なんと購入できたのです。

(★)



しばらく200円のアイテムを購入していましたが、ボスキャラを倒し、ステージクリアするためにはもっと強いアイテムが必要だと分かりました。
そこで、ちょっと高いアイテムを購入しました。
合わせて、ミニアイテムも購入しました。
(★)



その頃、母親のスマホには・・・
(★)



身に覚えのない、注文明細のようなメールが大量に届いていました。
母親はもうパニックです。
(★)



翌日、スマホ契約時に登録したカード会社から多額の利用明細が届きました。
ようやく、男の子がスマホで購入し、契約者の母親のもとに請求が来たことを知りました。
(★)

母親の失敗はどこにあったのでしょうか？

やまぐち総合教育支援センター

情報モラル

さて、購入したのは男の子ですが、保護者としての母親の失敗はどこにあると思われますか？

近くの人と、「母親の失敗の原因」を話し合ってみてください。

（※話し合い後、何人か指名します。）

（★）

失敗の原因

- ・スマホの扱いを子ども任せ
- ・フィルタリング無し
- ・推測されやすいパスワード
- ・スマホに潜む危険に対する無知

失敗の原因としていろいろ考えられますが、次のようなことが主に挙げられます。

- (★) スマホの扱いを子ども任せにしていた。
- (★) 子どものスマートフォンにフィルタリングをかけていなかった。
- (★) パスワードを推測されやすいものにしていた。
- (★) スマホに潜む危険に無知で、子どもと共有していなかった。
- (★)

家庭の役割

- ・スマホの扱いを子ども任せにしない。
- ・フィルタリングをかける。
- ・推測されやすいパスワードにしない。
- ・スマホに潜む危険を学び、共有する。

これらの失敗は言い換えれば、親として気を付けることになります。
今回のような事例を未然に防ぐには家庭の役割が重要です。
学校としては、家庭がどのようなことに気を付けるといいのか留意しておく必要があります。
(★)